

beyond2020プログラム 認証事業一覧 (平成29年6月2日)

事業名	団体名	期間	場所	概要
第10回千の風音楽祭	千の風音楽祭実行委員会	2018/1/8	新潟県 新潟市	<p>この音楽祭は、名曲「千の風になって」の歌の心である「命の尊さと愛の素晴らしさ」を将来に大切に伝えていくことを目的として、平成20年度から開催しているものです。</p> <p>第1部では、出演者一人ひとりが感じる「千の風になって」への想いを様々なジャンルで自由に表現していただくステージを行い、第2部では「千の風になって」の生みの親である新井満さんとゲストをお迎えし、スペシャルライブを実施。聴覚障がいをお持ちの方にも音楽祭を楽しんでいただけるよう、手話通訳を配置。</p>
2017にいがた総おどり	新潟総踊り祭実行委員会	2017/9/16 ～ 2017/9/18	新潟県 新潟市	<p>日本で最大級のオールジャンルのダンスフェスティバル”ジャズやヒップホップなど14ジャンル総勢240の参加団体が、新潟県内の全市町村、全国16都道府県海外3カ国から集結する祭りを開催。参加規程は「心を込めて踊ること」のみ。開催期間3日間の各日のフィナーレには、新潟の300年前の新潟の盆踊りを復活させた「下駄総踊り」や、オーディエンスも含めた会場全体が一緒になって踊る「総踊り」を実施。年間でのイベント・講習会を含めた交流を通じて障がい者福祉施設も参加があり、参加者の環境に応じた演舞回数や時間の調整も実施。高齢者へは健康寿命を向上させる「総踊り体操」を制作し年間延べ5,000名が習得。海外からも、フランス・中国・韓国等から参加があり、「踊り」という言葉を越えたダイレクトなコミュニケーションを楽しんでいる。特にフィナーレの「総踊り」は様々な国の人々が集まり、心と身体を躍らせる。会場に外国語対応スタッフを配置。</p>
荻野由美子 オルガン・リサイタル	公益財団法人神奈川芸術文化財団	2017/6/10	神奈川県 横浜市	<p>神奈川県民ホールのパイプオルガンは、日本初の公共ホールのオルガンとして1975年の開館に合わせて設置。設置以降、コンサートホールでパイプオルガン演奏を楽しむという鑑賞スタイルが波及し全国に広がった。このコンサートでは神奈川県民ホール・オルガンアドバイザーの荻野由美子が「ブラームスの旅」をテーマに、今年没後120年を迎えたブラームスの遺作「11のコーラル前奏曲」などドイツ音楽史を代表する作曲家の作品を演奏。</p> <p>公演紹介、チケット購入、当日案内では多言語表記を積極的に行うほか、車椅子来場者受入れ、視覚障害者への案内係の付添い、筆談具の設置など障害者対応にも取り組む。</p>
第39回 平成29年度山梨県短歌大会	山梨県文化協会連合会	2017/8/1 ～ 2017/11/22	山梨県 甲府市	<ul style="list-style-type: none"> ・目的 県民の誰もが気軽に参加し、短歌の創作活動の活発化と、県内の短歌愛好者の交流と親睦を図り、本県の短歌文学の振興に努めることを目的として、山梨県短歌大会を開催。 ・応募期間 平成29年8月1日（火）～9月11日（月）（投稿は山梨県在住者または在籍者に限る。） ・大会開催日 平成29年11月22日（水） ・選奨 大会会長賞・知事賞・県議会議長賞等 ・選評・講演 今野寿美氏（歌誌「りとむ」編集人、宮中歌会始選者）※大会会場はバリアフリー化済み。

事業名	団体名	期間	場所	概要
平成29年 山梨県俳句大会	山梨県文化協会連合会 山梨県俳句大会実行委員会	2017/6/1 ～ 2017/10/8	山梨県 甲府市	<ul style="list-style-type: none"> ・目的 県下各市町村の文化協会俳句部門と連携し、広く一般県民を対象に俳句作品を公募し、全県規模で俳句を通して交流する機会をつくる。高校生の参加料を無料として、若年層にも俳句づくりの楽しさを知ってもらい、俳句人口の拡大を図る。 ・応募期間 平成29年6月1日（木）～平成29年7月20日（木） ・大会開催日 平成29年10月8日（日） ・表彰 大会会長賞、知事賞、県議会議長賞、高校生特別賞等 ※大会会場は、バリアフリー化済み。
イマジネーション・レコード	公益財団法人神奈川芸術文化財団	2017/8/29 ～ 2017/9/3	神奈川県 横浜市	<p>KAAT神奈川芸術劇場が、秋に取り組むDance Seriesの開幕プログラム。</p> <p>横浜を拠点に活動する矢内原美邦率いるダンスカンパニー・ニブロールは、海外での活躍も多く、結成20周年を向かえる本年、初めてKAATに登場。</p> <p>車いす専用スペースの確保並びに、盲導犬、聴導犬、介助犬の同伴対応も含め障がいをもつ方の鑑賞にさまざまな劇場設備で対応すると同時に、専門的なスタッフを配置。外国人鑑賞者向けに英語等の作品パンフレットを配布予定。</p>
第27回UBEビエンナーレ（現代日本彫刻展）	宇部市、UBEビエンナーレ運営委員会、毎日新聞社	2017/10/1 ～ 2017/11/26	山口県 宇部市	<p>UBEビエンナーレは、山口県宇部市ときわ公園を会場に開催している野外彫刻の展覧会。1961年より開催を続け2011年には通算26回、50周年を迎えました。現在では、世界30カ国のアーティストが応募する世界でも最も古い歴史を持つ大規模な国際コンクールへと発展し、前回展の来場者は過去最高となる9万人を数えました。第27回展では、世界29カ国277点の応募の中から選ばれた18点の野外彫刻と40点の入選模型作品を展示し、様々な関連イベントを開催。</p> <p>会場は段差の無いバリアフリーとなっており、出品作品のほとんどは直接触ってみることができる。また、外国人向けのサイトや、パンフレット・チラシ等を作成。</p>
埼玉県芸術文化祭2017 地域文化事業「第16回 竹間沢車人形公演」	三芳町教育委員会、コピスみよし（三芳町文化会館）	2017/12/3	埼玉県 三芳町	<p>埼玉県指定有形民俗文化財及び三芳町指定無形民俗文化財である竹間沢車人形を用いた人形芝居。竹間沢車人形は幕末の文久年間（1861～1864年）以来、三芳町竹間沢に伝わる人形芝居であり、一度は途絶えたものの、埼玉県の調査により昭和47年（1972年）に発見され、保存会によって現在まで守り継いでいる。竹間沢車人形の魅力を広め後世に受け継いでいくため、公演では一般公募による参加者を募り、半年間にわたる練習を経て上演に臨む。</p> <p>会場のコピスみよしはバリアフリーに優れ、入口から客席まではもちろんのこと、舞台上上がるまでも段差が無い。また、点字付きの手すりやオストメイトの設置、難聴者支援システムの導入、親子室やチャイルドシートなど、多様な人々にとって利用しやすいホール。</p>

事業名	団体名	期間	場所	概要
見て、聞いて、学ぶ 「伝統芸能」 まるごと！狂言体験	公益財団法人千葉県文化振興財団	2017/7/27 ～ 2017/8/24	千葉県 千葉市	<p>本公演は、敷居が高いと言われることが多い伝統文化を、見て、聞いて、学ぶ機会を提供することで、興味・関心を喚起し、日本の誇る伝統文化を保存・継承するきっかけづくりとする事業。今回は、「狂言」にスポットをあて、広く参加者を募集。狂言講座・囃子体験・狂言鑑賞を3日間のスケジュールで、気軽に参加できるプログラム。千葉県文化会館は、コミュニケーションボードや筆談ボードによる対応、障害用トイレや障害者席、専用駐車スペースが完備されており、障害をお持ちのお客様でも安心して鑑賞が可能。職員はサービス介助士の資格を取得済み。</p> <p>また、外国人の方と適切なコミュニケーションを図るために受付カウンターにタブレット翻訳機や外国語版コミュニケーションボードを設置。</p>
千葉県文化会館開館50周年記念事業 松竹大歌舞伎	公益財団法人千葉県文化振興財団	2017/11/26	千葉県 千葉市	<p>本公演は、無形文化遺産にも登録されている日本の代表的な伝統芸能の歌舞伎を豪華な俳優陣が、全国を回る巡業公演の千秋楽公演。歌舞伎の公演をするとその土地を清めるという意味もあると言われ、千葉県文化会館の開館50周年に相応しい事業であり、日本語や日本の所作の美しさを感じていただく。千葉県文化会館では、コミュニケーションボードや筆談ボードによる対応、障害用トイレや障害者席、専用駐車スペースが完備されており、障害をお持ちの方でも安心して鑑賞が可能。障害をお持ちのお客様にはサービス介助士の資格を持つ職員が斜行型段差昇降機を操作して案内を実施。</p> <p>また、外国人の方と適切なコミュニケーションを図るために受付カウンターにタブレット翻訳機や外国語版コミュニケーションボードを設置。</p>
千葉県文化会館開館50周年 記念シンポジウム	公益財団法人千葉県文化振興財団	2017/7/9	千葉県 千葉市	<p>千葉県文化会館の開館50周年を記念して、建築物としての評価を再認識するとともに、地域における千葉県文化会館の役割を確認する機会。又、県内の企業、大学、オーケストラと連携を図り来場者が楽しめる空間を演出を実施。千葉県文化会館では、コミュニケーションボードや筆談ボードによる対応、障害用トイレや障害者席、専用駐車スペースが完備されており、障害をお持ちの方でも安心して鑑賞が可能。要望に応じて、障害をお持ちのお客様にはサービス介助士の資格を持つ職員が斜行型段差昇降機を操作して案内を実施。</p> <p>また、外国人の方と適切なコミュニケーションを図るために受付カウンターにタブレット翻訳機や外国語版コミュニケーションボードを設置。</p>
千葉県文化会館開館50周年記念事業 プレミアム・クラシック・シリーズ vol.29 中丸三千繪 ソプラノリサイタル	公益財団法人千葉県文化振興財団	2017/10/29	千葉県 千葉市	<p>本公演では、芸術性や国際性の豊かな公演として、マリア・カラス国際声楽コンクールに優勝し、世界のトップ・オペラハウスで超一流のマエストロ達と共演を重ねてきた、日本が誇る世界のディーヴァ、中丸三千繪によるソプラノリサイタルを開催。千葉県文化会館では、コミュニケーションボードや筆談ボードによる対応、障害用トイレや障害者席、専用駐車スペースが完備されており、障害をお持ちの方でも安心して鑑賞が可能。要望に応じて、障害をお持ちのお客様にはサービス介助士の資格を持つ職員が斜行型段差昇降機を操作して案内を実施。</p> <p>また、外国人の方と適切なコミュニケーションを図るために受付カウンターにタブレット翻訳機や外国語版コミュニケーションボードを設置。</p>

事業名	団体名	期間	場所	概要
子どものための鑑賞プログラム ファミリーコンサートvol.5 ～ママのおなかとおひざで音楽会～	公益財団法人千葉県文化振興財団	2017/9/9	千葉県旭市	<p>本公演は、妊娠中の方や、乳幼児を抱えた子育て中の家族が、気軽に足を運べる音楽会。</p> <p>プログラムには胎教に良いと言われるクラシックや、日本の童謡などを織り込み、小さな頃からクラシック音楽や日本の伝統的な音楽に触れることで興味の芽を引き出し、育てていく。</p> <p>東総文化会館では、コミュニケーションボードや筆談ボードによる対応、障害用トイレや障害者席、専用駐車スペースが完備されており、障害をお持ちのお客様でも安心して鑑賞が可能。</p> <p>また、外国人の方と適切なコミュニケーションを図るために受付カウンターにタブレット翻訳機や外国語版コミュニケーションボードを設置。</p>
Mai's Kitchen - Japanese Inner Beauty Cooking Class -	株式会社 伝	2017/7/1 ～ 2018/6/30	東京都中央区	<p>訪日外国人観光客および在日外国人を対象に、日本の伝統的な家庭料理を英語で分かりやすく教える、体験型の和食料理教室。宗教上あるいは信条上、食べられない食材がある方にも安心して食事を楽しんでいただけるよう、ハラール・ベジタリアン・グルテンフリーに対応可能。食のバリアフリーを実現することで、和食を中心としたヘルシーな日本の家庭料理を、より多くの外国人の皆様に楽しんでもいただける。</p> <p>さらに伝統工芸品である輪島塗や曲げわっぱを食器として採用。人気ブランド「輪島キリモト」の食器を贅沢に使った手まり寿司コースなど、和食と伝統工芸品の魅力を同時に体感できるプログラムで日本の食文化の魅力を存分にアピール。</p>
ARTs of JOMON - Hyper Subculture-	大日本印刷株式会社／Isetan Cool Japan Department Store SDN. BHD. (Malaysia)	2017/6/17 ～ 2017/8/13	マレーシア (海外)	<p>いった自然の移りかわりに寄り添いながら狩猟・採集・漁労生活の中で縄文土器を作るなど、その独自の文化を開花させながら1万年以上もの間持続可能な社会を築いていたと言われ、近年世界的にその独自の文化に注目が寄せられている。マレーシアと日本の外交関係樹立60周年の2017年、多様な人種、宗教、文化、言語が共存し、寛容な精神が根付く国際都市クアラルンプールで縄文文化と現代アートを融合した展示イベントの開催が実現。来場者は数々のオリジナル縄文アート作品の鑑賞、縄文土器陶芸教室や、3Dプリンティング教室など作品出展アーティストによる特別ワークショップの開催、マレーシア・アーティストとコラボレーションによるCUBE_1障壁画の制作を通じて、縄文文化と現代のサブカルチャの繋がりを体感することができる。</p> <p>なお、当プログラムは海外の方により深く理解して頂けるように、SNSやWebでの情報発信、展示物の解説を英語で行っており、現地スタッフも配置。</p>
大阪クラシック	大阪クラシック実行委員会（大阪市、公益社団法人大阪フィルハーモニー協会、御堂筋まちづくりネットワーク）	2017/9/10 ～ 2017/9/16	大阪府大阪市	<p>大阪の4大オーケストラと国内でも数少ないプロの吹奏楽団で繰りひろげるクラシック音楽の祭典。初秋の1週間、一流のクラシック音楽に誰でも気軽に親しんでいただく機会として、大阪のメインストリートである御堂筋や水の都大阪を象徴する中之島エリアにおいて、オフィスビルのエントランスやホテルのロビーなどで、小編成アンサンブルによる無料コンサート（59公演）や、低料金の有料コンサート（22公演）を開催。無料公演においては、車椅子を使用できる鑑賞スペースを十分に確保した会場を設けたり、障がいをもつ子たちのための貸切招待公演を開催。</p>

事業名	団体名	期間	場所	概要
第47回滋賀県芸術文化祭 ミシガングルージングステージ	滋賀県芸術文化祭実行委員会、滋賀県、滋賀県教育委員会、公益財団法人びわ湖芸術文化財団	2017/8/27	滋賀県大津市	<p>琵琶湖の船上において、滋賀県芸術文化祭の参加団体に文化活動の成果を発表していただき、参加者との交流を図るとともに、県民に芸術文化祭を周知するため「クルージングステージ」を開催。</p> <p>また、本年は「琵琶湖周航の歌」誕生100年となることから100周年を記念し、滋賀の歌として親しまれる「琵琶湖就航の歌」をテーマに、滋賀県芸術の参加団体の様々な取り組みを琵琶湖を周遊しながら湖上で発表。</p> <p>なお、遊覧船にエレベーターリフトが設置されており、乗船または下船時に車いす介助スタッフを配置するとともに、姉妹都市、アメリカ ミシガン州からのパーサー（旅客係）が配置されており、船内には英語案内が表記。</p>
北海道博物館 赤れんがサテライト	北海道	2017/4/1 ～ 2018/3/31	北海道札幌市	<p>北海道庁旧本庁舎「赤れんが庁舎」は、重要文化財として国の指定を受けた北海道を代表する歴史的建造物であり、国内外から年間60万人以上が訪れる有数の観光スポット。</p> <p>赤れんが庁舎において、北海道の自然・歴史・文化を広く扱う総合博物館である『北海道博物館』の見所を資料展示や映像により紹介をはじめ道内各地の博物館等施設に関する情報をご来訪の観光客に紹介する「北海道博物館 赤れんがサテライト」を開設。</p> <p>赤れんがサテライトでは、外国人観光客増加への対応のため、展示パネルの多言語表記のほか、スマホを使った多言語展示解説サービスの導入や多言語プロモーションビデオの放映等を実施。（日・英・中（簡・繁）・韓・露 6言語）</p>
SERENADE in BUNSHOKAN	山形県、公益社団法人山形交響楽協会	2017/7/14	山形県山形市	<p>英国近世復興様式を基調とした日本の代表的な近代建築である重要文化財「文翔館」議場ホールにおいて、山形県を拠点とし45年に亘って地域の音楽文化を牽引してきたプロオーケストラ・山形交響楽団が弦楽合奏を行うコンサート。</p> <p>「文翔館」と「山形交響楽団」という山形県が誇る文化的資源を組み合わせ新たな価値を創造。近年の重要な日本の文化的コンテンツであるゲームで使用されている曲や、交響曲・管弦楽・映画音楽・童謡などの多数の名曲を遺した日本の作曲家・芥川也寸志の曲などを演奏し、日本が誇る音楽文化を国内外に発信。</p> <p>なお、ポスターやチラシには英語を併記し、積極的に外国人の誘客を図る。また、会場の文翔館は、身障者用トイレやエレベーターが整備。</p>
第14回大分アジア彫刻展	大分アジア彫刻展実行委員会、大分県、豊後大野市	2017/4/1 ～ 2018/3/31	大分県豊後大野市	<p>近代日本彫塑の基礎を築き、東京美術学校や「朝倉塾」で後進の育成に努めた大分県出身の彫塑家朝倉文夫を顕彰し、アジアの新進彫刻家の登竜門となる彫刻展を開催することにより、地方からの情報発信と国際的な文化交流を目指す。会期以外にも過去の作品を紹介する紹介展等開催。作品募集チラシは、日本語、英語、中国語、韓国語版に加え、タイ語とマレー語版を作成予定。展覧会チラシも、会期、会場等を英語表記し、国外の方にも参加しやすいよう取組みを実施。</p> <p>【作品公募期間】 2017年 8月 1日(火)～12月21日(木) (予定) 【展覧会会期】 2018年 9月29日(土)～11月25日(日) (予定)</p>

事業名	団体名	期間	場所	概要
全国大学フラメンコフェスティバル及び関連行事	全国大学フラメンコフェスティバル実行委員会	2017/6/14 ～ 2017/8/12	千葉県 館山市	<p>館山市は房総半島の南東に位置する館山市の明るい太陽と海と花を活かした南欧風のまちづくりのイメージイベントとして「南房総フィエスタ」を開催し、フラメンコを取り入れてきた。平成7年からは南房総全体のイメージアップに寄与するため、日本で唯一のイベントである「全国大学フラメンコフェスティバル」を開催。一方、市民レベルでも地元団体やフラメンコ愛好者で組織する「エスぺランサ館山」などを中心に活発な活動を実施。</p> <p>この「全国大学フラメンコフェスティバル」を核として、学生たちが市内幼稚園や小学校などで演技を披露する出前フラメンコや、障害者支援施設である中里ワークホームでのライブイベントなども実施し、フラメンコを中心として学生と市民との交流や南欧風の文化の定着を図ることにより、多様な文化の融合とふるさと館山の魅力アップに繋げる。</p>
第4回スポーツ鬼ごっこ都道府県選抜大会	一般社団法人鬼ごっこ協会	2017/6/18	東京都 大田区	<p>鬼ごっこは、1300年昔より日本に伝わる伝統文化と言われている。神社仏閣の宮中行事として天下泰平や五穀豊穡を願う儀式として行われていた。</p> <p>また、昔から子ども時代に最も人気があり、誰もが遊んだ経験がある。その鬼ごっこを現代に合わせ進化させたのが「スポーツ鬼ごっこ」というルールのある新しい鬼ごっこです。昔の鬼ごっこの起源とされる「ことろことろ」の要素も加味されており、日本文化の継承も目指す。</p> <p>本事業は、各都道府県から選抜されたチームが集まって、スポーツ鬼ごっこ都道府県No1を決める。チーム編成は、小学生以上の子どもから大人の混成チームが条件となっており、多世代交流も行っている。また、障害の有無や世代・性別の差異に関係なく、選手を募る。</p>
第2回 山形ブランド発信イベント in「旅する新虎マーケット」	山形市	2017/6/23	東京都 港区	<p>「新虎通り」を舞台に全国各地の様々なコンテンツを発信する「The Japan Connect 旅する新虎マーケット」において、山形市は開幕を飾る第一タームに出展しているが、29年6月23日には、山形を代表する夏まつり「山形花笠まつり」と山形特産の「さくらんぼ」、さらに北前船交易により山形に京都・大阪の文化をもたらした「紅花」をパッケージ化し、PRするイベントを実施。本場の花笠まつりを味わっていただくため、花笠の踊り手による躍動感あふれる演舞ステージも予定。</p> <p>チャシは多言語化し、通訳も配置することにより、東京の方のみならず外国人の方へも山形市の文化に触れていただき、初夏に相応しい山形ブランドを新虎マーケットから世界に発信。</p>
第16回ドリーム夜さ来い祭り	一般財団法人ドリーム夜さ来い祭りグローバル振興財団	2017/11/3 ～ 2017/11/5	東京都 港区ほか	<p>東京お台場・丸の内等で開催されるドリーム夜さ来い祭り。</p> <p>【1】全国のよさこいチームによるよさこい鳴子踊り 【2】観客飛び入り参加型演武・総踊り/JAPAN 和 PARADEの実施</p> <p>特に上記②の取り組みとして、車椅子等の障害者も含めた誰でも参加できる踊り講習会総踊りの部を設ける。また、演舞会場に多言語対応スタッフを配置し、WEBサイトも英語版で対応し、世代・国籍・身体の障害を越えた「ユニバーサル型」の祭り。</p>

事業名	団体名	期間	場所	概要
21世紀メッセージ展	21世紀のメッセージ作家の視点協会	2017/8/21 ～ 2017/12/17	鹿児島県 南さつま市	<p>1987年に芸術文化の発展と作家の育成、又、芸術を通じて地方文化の発展や、日本美術の海外への紹介など、国際交流を目的として発足。</p> <p>なお、次代を引き継ぐ自動・生徒についても教育の一環として、上記と同じく貢献。今回実施する下記の3つの展覧会では、絵の説明を外国語（英語、中国語）で開設。</p> <p>8/21～26 21世紀メッセージ展 11/5～19 南さつま児童生徒美術展 12/9～17 南さつま児童美術展</p>
あいちトリエンナーレ地域展開事業	あいちトリエンナーレ地域展開事業実行委員会	2017/5/17 ～ 2018/3/31	愛知県 名古屋市ほか	<p>あいちトリエンナーレ2016の開催成果を県内各地に広め、県民の方々に文化芸術への関心を高めていただくとともに、あいちトリエンナーレ2019の開催気運の醸成を図ることを目的として、現代美術作品の制作・展示や子どもたちへの文化芸術体験機会の提供などを一宮市内で、また、若手芸術家育成事業を愛知芸術文化センターで、親子で楽しむコンサート等を蒲郡市民会館で実施。現代美術展に合わせて、一宮市内の福祉施設や商業施設を活用して展示するおでかけ展示や作家を講師として小学校や聾学校へ派遣する学校派遣を実施することで、日頃本物の芸術に触れる機会の少ない高齢者、障害者、子育て世代、子ども等全ての人々の鑑賞機会の充実・拡大を図る。</p> <p>さらに、現代美術展のキャプションの多言語化や若手芸術家育成事業の会場がWi-Fi環境が整備されている等、訪日外国人向けにサービスを充実。</p>
平成29年度福島県芸術祭	福島県、福島県芸術文化団体連合会、福島県教育委員会、開催地区市町村・教育委員会、各文化団体	2017/6/1 ～ 2017/12/31	福島県 相馬市ほか	<p>県民の芸術、文化活動の祭典として多くの人々に親しまれている総合文化祭であり、昭和37年以降、毎年開催。</p> <p>今年度は、相双地区を重点地区として「生きる力 文化の力は 相双から」をテーマに、開幕式典・開幕行事を相馬市で開催するほか、全県の文化団体が主催する主催行事（約25行事）と、各文化団体が自主的に実施する参加行事（約70行事）を県内各地で開催。音楽、演劇、美術、文学、舞踊、生活文化など、幅広い分野にわたっており、日頃の鍛錬の成果を発表し、本県の多彩な文化の魅力を発信する場であるとともに、会場はバリアフリーで子どもから高齢者、障がい者の方までどなたでも楽しめる。</p>
第71回福島県総合美術展覧会	福島県、福島県教育委員会・福島県総合美術展覧会運営委員会・福島県美術家連盟・福島県在京美術家協会・福島市教育委員会・福島市・公益財団法人福島県文化振興財団・福島県立美術館	2017/6/16 ～ 2017/6/25	福島県 福島市	<p>県内最大の公募美術展。「県展」の愛称で親しまれる本展覧会は、昭和22年の第1回展以来、本県美術の振興を目的に、県内および県出身者から作品を公募して展覧し、美術を志す方の作品発表の場、登竜門として、多くの優れた美術家を輩出するとともに、多彩な作品を鑑賞できる場。日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書の5部門で、一般公募のほか、招待作家等の作品も展示する。</p> <p>会場はバリアフリーとなっており、子どもから高齢者、障がい者の方まで、どなたでも無料で鑑賞が可能。</p> <p>また、開催期間中の6月17日には、青少年の創作活動の活性化、担い手の育成を目的に、高校生等を対象としたワークショップ（洋画・彫刻）も開催。</p>

事業名	団体名	期間	場所	概要
「SOMPOアート・ファンด์」キックオフミーティングおよび活動報告会イベント	損害保険ジャパン日本興亜株式会社	2017/6/7 2018/3/31	東京都中央区ほか	<p>第2回の助成活動団体を対象にSOMPOアート・ファンด์が目指す姿の共有や文化・芸術活動に携わる方々のネットワーク形成などを目的としたキックオフ・ミーティングを開催します。</p> <p>「SOMPOアート・ファンด์」は、公益社団法人企業メセナ協議会が運営する「2021芸術・文化による社会創造ファンド（2021 Arts Fund）」の仕組みを活用し、全国の文化・芸術活動を支援するファンドです。今回申請するイベントでは、文化芸術に対する当社の理念や企業姿勢をご紹介します、採択された活動の内容をご紹介しますとともに、文化芸術活動に携わる方々の交流の機会を提供し、後に活動報告をしていただくことによって、文化団体の財政的支援のみならず、団体同士の化学反応も含めた文化活動の一層の活性化への一助となることを狙っております。</p>
富士山国際美術展 Japan×Korea 『アートと解脱』展	富士山国際美術展実行委員会	2017/9/2 ～ 2017/9/10	静岡県富士宮市	<p>三澤寺がある柚野地域では、縄文時代初期から人が定住をしていたこともあり遺跡や出土品が多数発掘されている。また、戦国武将や日蓮上人ゆかりの寺が点在し、富士山信仰とも強く関わってきた。三澤寺も、その一つである。この歴史文化の宝庫である場所を舞台に、日韓現代美術作家が展示を通して歴史文化の美しさ素晴らしさを再認識させてくれる。</p>
プロジェクトスクール @3331	文化庁	2017/5/29 ～ 2018/3/31	東京都千代田区	<p>自分でプロジェクトを立ち上げ地域貢献したい人、企業の中でメセナ活動・CSR活動に積極的に取り組みたい人などを対象に、地域特性を生かした魅力ある文化プロジェクトの企画及び実施に欠かせない多様なスキルを備えた文化芸術プロジェクトリーダーを育成するため、プロジェクトスクールを開講いたします。</p> <p>審査により選ばれたスクール生が、24時間いつでも自由に使えるフリースペースを活用し、スクール内での情報共有や、様々な分野のリーダーによる講義や指導を受けながら、自ら企画・立案した魅力ある新たなプロジェクトを全国各地で生み出していきます。</p> <p>プロジェクトスクールでは、現在スクール生を募集しています。</p>

事業名	団体名	期間	場所	概要
新潟の食と落語を楽しむバスツアー	新潟市	2017/6/23～ 2017/6/30	新潟県 新潟市	「レストランバス」を活用し、日本の伝統文化「落語」を気軽に体験するバスツアーです。全国初となる車内での落語会には桂三木男氏ほか若手落語家が酒店し、落語と地域の食材を生かした食事を楽しみながら、新潟市内の施設などを巡ります。
水と土の芸術祭2018	水と土の芸術祭2018実行委員会	2018/7/14～ 2018/10/8	新潟県 新潟市	水と土の芸術祭は、“私たちはどこから来て、どこへ行くのか～新潟の水と土から、過去と現在（いま）を見つめ、未来を考える～”を基本理念とし、2009年から3年に1度、新潟市内で開催。新潟市の水と土によって形成された、独自の風土や文化に光をあてることで、人間と自然との関わりかたを見つめ直し、未来を展望していくヒントとなるものを探る芸術祭。今回は、「市民プロジェクト」、「こどもプロジェクト」、「アートプロジェクト」、「シンポジウム」、「にいがたJIMAN」の5つのプロジェクトを柱に実施。